

2016秋の企業訪問実施結果について

【 企業（団体・金融機関）訪問記録 】

平成28年10月から11月にかけて、商工労働部職員による企業訪問調査を行った。

（主な調査項目）

- ①現在及び半年後の景況感
- ②為替の影響
- ③設備投資計画の有無
- ④金融機関の対応
- ⑤雇用人員状況及び今後の雇用見直し状況

平成28年12月

商工労働部

I 概 観

非製造業を中心に一部に熊本地震の影響が残るものの、全体では景況感が悪化した前回から回復傾向にある。為替は円高傾向から再び円安にシフトしようとしているが先行き不透明であり注視が必要。

企業訪問時の各社の景況感

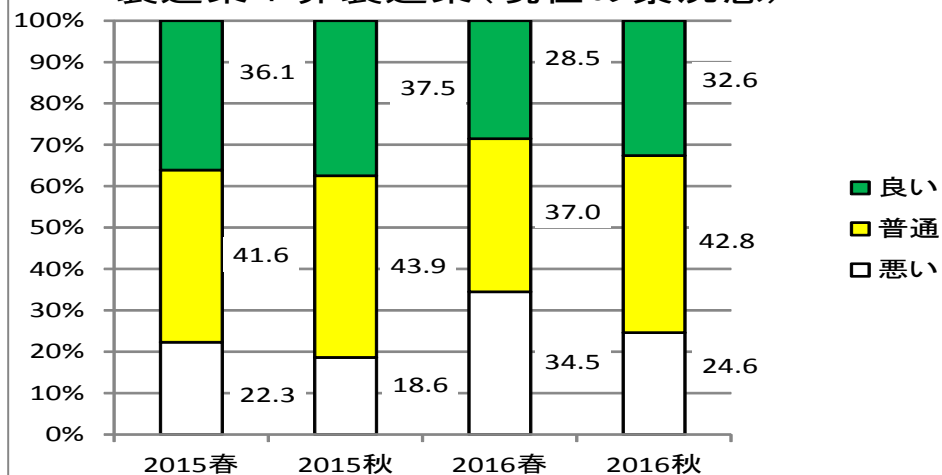
製造業+ 非製造業	景況(現在) (%)、ポイント			景況(半年後) (%)、ポイント		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2016秋	32.6	42.8	24.6	32.2	55.6	12.1
2016春	28.5	37.0	34.5	34.8	50.3	14.9
秋-春	4.1	5.8	▲ 9.9	▲ 2.6	5.3	▲ 2.8

○景況感はやや改善。春の調査時と比較して、『良い』と回答した企業が4.1ポイント増加し、『悪い』は9.9ポイント減少している。

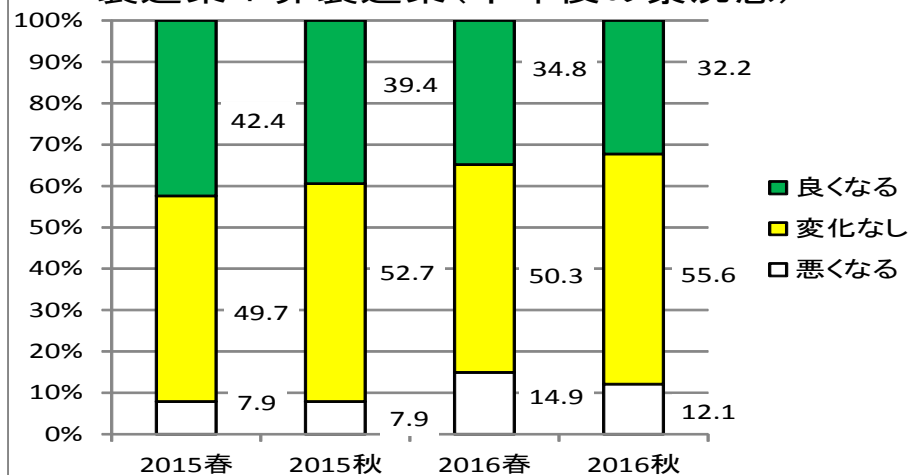
○『悪い』と回答した企業のうち、熊本地震の影響に言及している企業は2割未満。

○半年後の景況感については、『良くなる』と回答した企業の割合が2.6ポイント減少したが、『悪くなる』と回答した企業の割合も2.8ポイント減少している。

製造業+非製造業(現在の景況感)



製造業+非製造業(半年後の景況感)



2016秋の企業訪問 集計表（業種別） その1

業 種	景況感	訪問数	現在の景況判断						半年後の景況判断			為替の影響		
			良い	悪い	普通	D. I			良くなる	悪くなる	変化なし	あり	今後あり	なし
						今回	前回	差						
①製造業	→	166	63	38	65	15	1	14	60	18	85	34	7	122
繊維	→	5	3	1	1	40	△100	140	3	0	2	1	0	4
木材・木製品	→	8	2	4	2	△25	0	△25	0	2	5	4	0	4
紙・パルプ	→	3	0	0	3	0	△25	25	0	0	3	0	0	3
化学・石油	→	11	6	2	3	37	0	37	4	2	5	2	0	8
窯業・土石	→	7	1	1	5	0	△40	40	2	1	4	0	0	7
鋼鉄・非鉄金属	→	2	1	0	1	50	100	△50	1	0	1	1	0	1
食品加工	→	33	11	8	14	9	3	6	15	1	17	9	1	23
一般機械	→	19	7	2	10	26	33	△7	6	3	10	3	1	15
電気機械	→	16	5	6	5	△7	△14	7	5	3	8	4	2	10
金属製品	→	22	10	3	9	31	29	2	7	1	13	4	0	16
造船	→	2	0	1	1	△50	60	△110	0	0	2	1	0	1
輸送機械(自動車)	→	22	12	4	6	37	△25	62	13	2	6	0	2	20
医療医薬品	→	5	3	0	2	60	57	3	2	0	3	0	1	4
その他	→	11	2	6	3	△37	△34	△3	2	3	6	5	0	6
②非製造業	→	180	48	46	81	1	△14	15	49	23	103	13	5	149
土木・建設	→	18	8	3	7	27	4	23	5	0	13	2	0	15
卸・小売	→	34	8	15	11	△20	△42	22	8	9	17	4	1	29
運輸	→	9	0	5	4	△56	△33	△23	3	2	4	0	1	8
通信・情報	→	39	11	6	22	13	10	3	13	1	25	0	2	37
対事業所サービス	→	21	8	1	11	35	20	15	6	1	14	4	0	17
対個人サービス	→	27	7	7	10	0	△33	33	9	1	14	2	1	22
飲食・宿泊	→	22	4	8	9	△19	△61	42	2	8	11	0	0	14
リサイクル	→	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	→	8	2	1	5	12	△20	32	3	1	4	1	0	7
合計(①+②)	→	346	111	84	146	8	△7	15	109	41	188	47	12	271
(2016春)		(365)	(104)	(126)	(135)	(△7)	(19)	(△26)	(124)	(53)	(179)	(68)	(6)	(275)
金融機関		24												
商工団体		18												
商店街		0												
各種団体・大学		0												
労働組合		12												
合 計		400	111	84	146	-	-	-	109	41	188	47	12	271

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

※D. I (Diffusion Index) : 景気について「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた数値。

2016秋の企業訪問 集計表（業種別） その2

業 種	訪問数	設備投資計画			金融機関の対応			
		あり	なし	今後 検討	良い	悪い	普通	借入 案件 なし
①製造業	166	78	62	26	62	6	44	46
繊維	5	1	3	1	2	1	0	2
木材・木製品	8	4	3	1	3	0	3	1
紙・パルプ	3	0	3	0	1	0	2	0
化学・石油	11	5	5	1	1	0	4	3
窯業・土石	7	1	4	2	2	1	4	0
鋼鉄・非鉄金属	2	2	0	0	0	0	0	2
食品加工	33	17	7	9	16	1	7	9
一般機械	19	9	6	4	7	3	5	4
電気機械	16	7	8	1	3	0	4	8
金属製品	22	11	9	2	11	0	6	2
造船	2	0	0	2	0	0	2	0
輸送機械（自動車）	22	11	8	3	8	0	5	9
医療医薬品	5	3	2	0	3	0	0	2
その他	11	7	4	0	5	0	2	4
②非製造業	180	58	89	26	63	1	49	52
土木・建設	18	7	10	1	7	0	7	3
卸・小売	34	10	19	5	13	0	9	12
運輸	9	4	4	0	2	0	2	4
通信・情報	39	9	22	6	16	0	8	14
対事業所サービス	21	5	12	4	8	0	7	6
対個人サービス	27	11	10	4	4	0	9	11
飲食・宿泊	22	7	9	4	6	1	6	2
リサイクル	2	2	0	0	0	0	0	0
その他	8	3	3	2	7	0	1	0
合計（①＋②） （2016春）	346 (365)	136 (132)	151 (164)	52 (62)	125 (125)	7 (3)	93 (105)	98 (102)
金融機関	24							
商工団体	18							
商店街	0							
各種団体・大学	0							
労働組合	12							
合 計	400	136	151	52	125	7	93	98

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

2016秋の企業訪問 集計表（業種別） その3

業 種	訪問数	雇用人員状況			今後の雇用見直し予定				
		過剰	不足	過不足なし	あり				なし
					採用	削減	正規・非正規見直し	その他	
①製造業	166	2	95	60	64	5	9	4	79
繊維	5	0	4	1	4	0	0	0	1
木材・木製品	8	0	5	3	3	0	0	0	3
紙・パルプ	3	0	3	0	3	0	0	0	0
化学・石油	11	1	5	5	1	0	1	0	6
窯業・土石	7	0	4	3	4	0	0	0	3
鋼鉄・非鉄金属	2	0	1	1	1	0	0	0	1
食品加工	33	0	19	13	12	2	1	0	18
一般機械	19	0	14	5	7	0	1	0	11
電気機械	16	1	11	4	7	1	1	0	7
金属製品	22	0	13	8	10	0	0	4	8
造船	2	0	0	2	0	1	0	0	1
輸送機械(自動車)	22	0	9	7	7	0	3	0	12
医療医薬品	5	0	2	2	1	0	1	0	3
その他	11	0	5	6	4	1	1	0	5
②非製造業	180	5	97	76	74	3	4	3	87
土木・建設	18	0	12	6	9	0	0	0	9
卸・小売	34	0	13	21	10	0	0	0	24
運輸	9	0	5	4	6	0	0	0	3
通信・情報	39	1	22	16	17	2	1	2	17
対事業所サービス	21	0	10	11	8	0	1	0	12
対個人サービス	27	3	13	9	12	1	2	0	10
飲食・宿泊	22	1	18	3	7	0	0	1	9
リサイクル	2	0	1	1	0	0	0	0	1
その他	8	0	3	5	5	0	0	0	2
合計(①+②)	346	7	192	136	138	8	13	7	166
(2016春)	(365)	(11)	(184)	(164)	(167)	(3)	(11)	(5)	(163)
金融機関	24								
商工団体	18								
商店街	0								
各種団体・大学	0								
労働組合	12								
合 計	400	7	192	136	138	8	13	7	166

※合計欄はそれぞれの項目に無回答があるため、訪問数合計とは一致しない。

Ⅱ 業種別の状況について

i 製造業

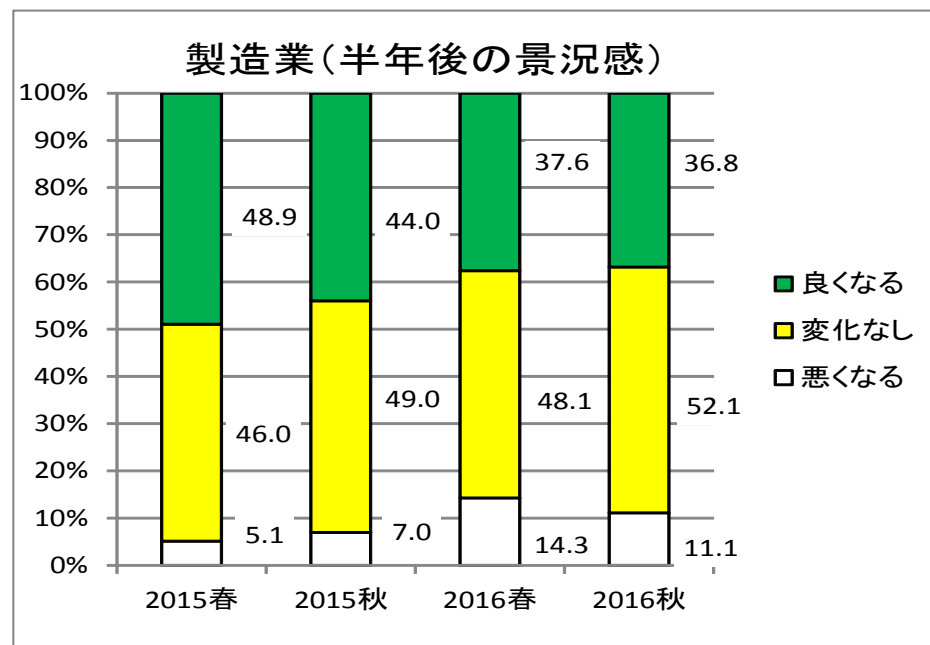
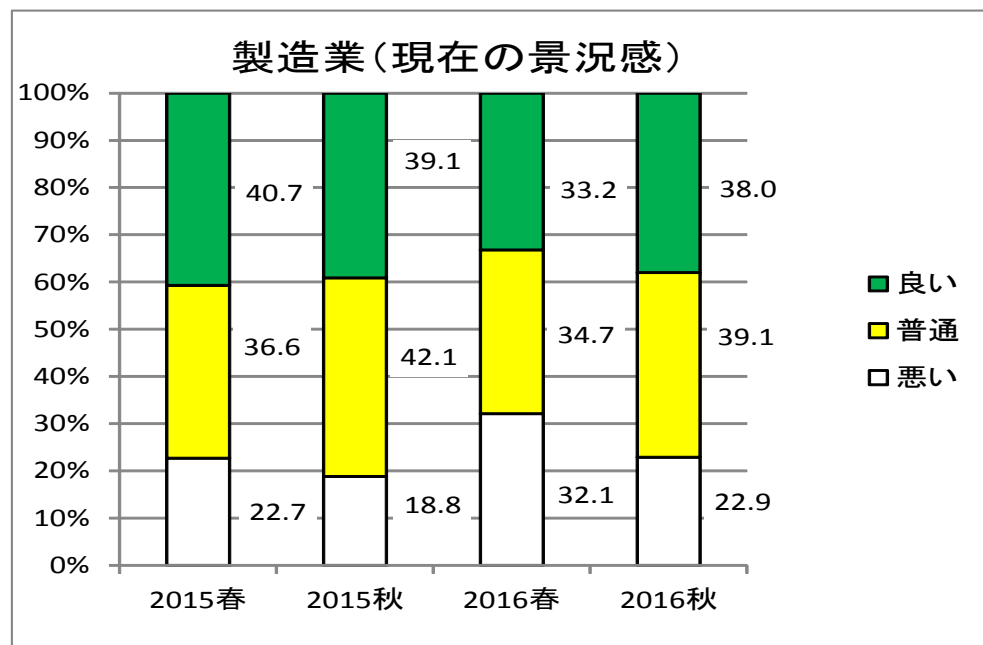
訪問時の各社の景況感

製造業	景況(現在) (%、ポイント)			景況(半年後) (%、ポイント)		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2016秋	38.0	39.1	22.9	36.8	52.1	11.1
2016春	33.2	34.7	32.1	37.6	48.1	14.3
秋-春	4.8	4.4	▲ 9.2	▲ 0.8	4.0	▲ 3.2

○景況感はやや改善している。秋の調査時と比較して、『良い』と回答した企業の割合が4.8ポイント増加し、『悪い』は9.2ポイント減少している。

○業種別にみると「食品加工」、「電気機械」、「金属製品」などはほぼ横ばいだが、「輸送機械（自動車）」の景況感が改善している。

○半年後の景況感は、『良くなる』と回答した企業の割合が0.8ポイント、『悪くなる』と回答した企業が3.2ポイント、ともに微減しているが、大きな変化は見られない。



(主な業種の傾向について)

1 食品加工 (33社) →

景況感は横ばいである (D. I はわずかにプラス)。土産物製造の企業が震災からの回復に苦戦する一方、新規取引先の開拓や工場の新設により売上の拡大を見込む企業もある。

- 震災の影響が大きい。クーポンで宿泊客は戻ったが近場の利用客が多いため土産には波及していない。少しずつ売上は戻っているが震災前に戻すには2、3年かかると思っている。
- 食品メーカーへの納入は、いったん決まれば安定・継続する。今後も右肩上がりで見込んでいる。
- 新加工場が11月に完成。売り上げは伸びていく公算。

2 電気機械【半導体等】(16社) →

景況感は横ばいである (D. I はマイナス幅が縮小)。一部の電子機器は需要の伸びが期待できない状況が続いており関連企業は依然低調な模様。他方で装置関連ビジネスの一部では好調な企業もある。

- 市場は成熟しており好転するのは厳しい。良くて横ばい。
- 9月以降装置関係が忙しくなった。
- 大企業が設備投資を開始したことに伴い、派遣業務の依頼が増加するなど多忙。

3 輸送機械【自動車】(22社) ↗

景況感は改善している (D. I はマイナスからプラスに転換)。大手メーカーの好調車種に関係する企業が順調に生産を行っている模様。部品によっては苦戦している企業もある一方、自動車以外の分野に販路を拡大する企業もある。

- 大手メーカーの特定車種が好調で、年度末までフル操業。
- 大手メーカーとの取引が安定している。それ以外の分野でもウレタン加工で新規受注が獲得できた。
- 自転車部品の小物部材を受注しているが、取引は落ち込んでいる。そもそも自動車部品の中で、当該部材自体が減少する傾向にある。

ii 非製造業

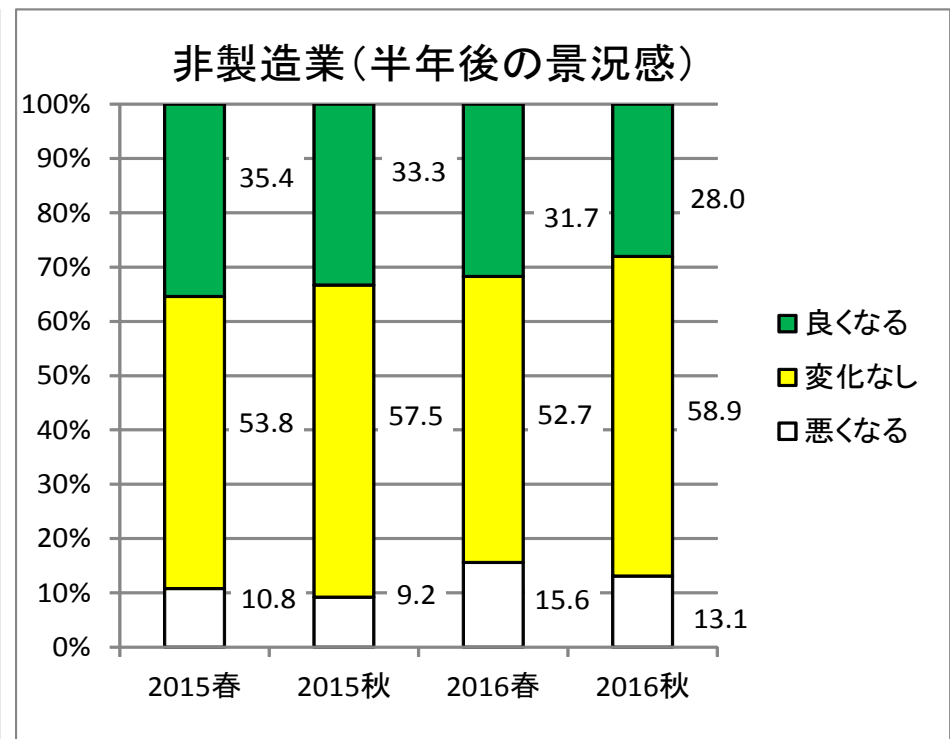
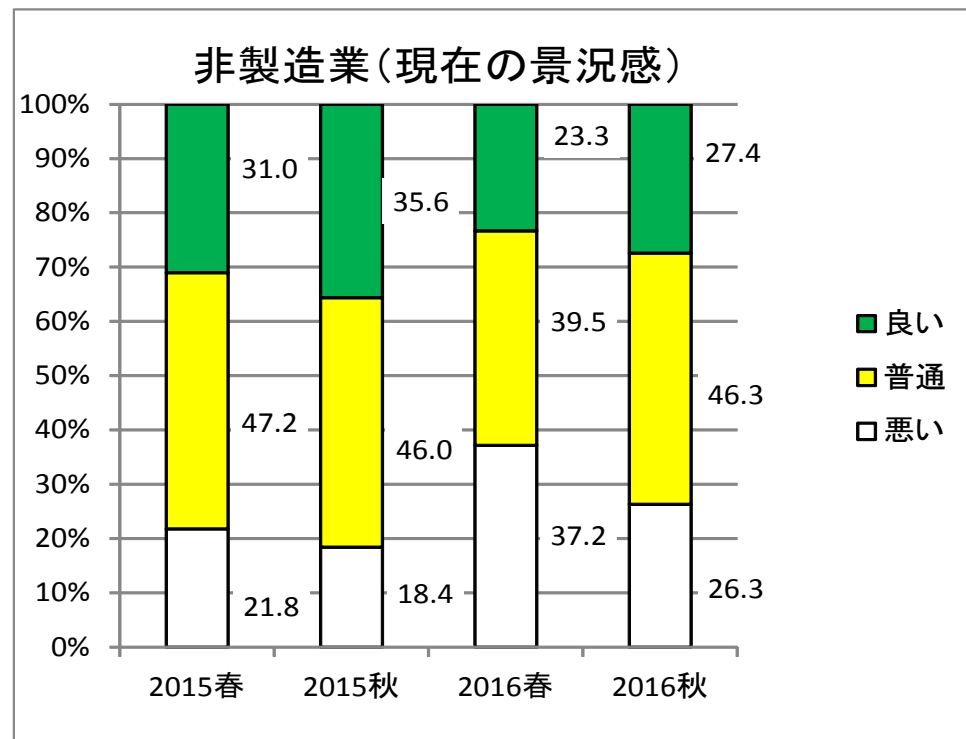
訪問時の各社の景況感

非製造業	景況(現在) (%、ポイント)			景況(半年後) (%、ポイント)		
	良い	普通	悪い	良くなる	変化なし	悪くなる
2016秋	27.4	46.3	26.3	28.0	58.9	13.1
2016春	23.3	39.5	37.2	31.7	52.7	15.6
秋-春	4.1	6.8	▲ 10.9	▲ 3.7	6.2	▲ 2.5

○景況感はやや改善している。春の調査時と比較して、『良い』と回答した企業の割合が4.1ポイント増加し、『悪い』は10.9ポイント減少している。

○業種別に見ても、「土木・建設」、「卸・小売」、「飲食・宿泊」など多くの業種で『良い』と回答した企業の割合が増えている。

○半年後の景況感は、『良くなる』と回答した企業の割合が3.7ポイント減少した一方、『悪くなる』と回答した企業も2.5ポイント減少しており、全体では大きな変化は見られない。



(主な業種の傾向について)

1 土木・建設 (18社) →

景況感は改善している (D. I はプラス幅が増加)。復興対応や大規模イベントなどで需要増となっている模様である。

- 福岡市、東京での仕事が多く断っている状況。東京五輪までは十分仕事はある見通し。
- 復興対応もあり、取引、売上ともに増。また、GIS (地理情報システム)、橋梁点検の受注も増加。
- 民間の工事はそこそこ受注があるが、公共工事の発注が少ない。

2 卸・小売 (34社) →

景況感は改善している (D. I はマイナス幅が縮小)。ただ観光客が戻ったが土産物の消費が伸びないという声が多く聞かれる。

- 既存各店舗の売上は伸びている。新店舗もオープンするがアメリカ大統領選挙の影響を心配。
- 観光客は戻ってきたが、賑わいが売り上げにつながっていない。特に外国人観光客はお土産を買わずにその場で食べる商品を購入する傾向があるので客単価が低い。
- 個人客は所得も減り客単価は下がっている。ただし、経営革新計画の事業については県外客も多く増加傾向。全体としては売上減。

3 通信・情報 (39社) →

景況感は横ばいである (D. I もほとんど変化なし)。マイナンバー関係は収束したようだが、人手不足感は強く需要は多い様子。

- ソフトウェア開発の分野では需要があるが技術者不足である。新システムの完成に伴い販売拡大が見込める。
- マイナンバーの仕事が収束し、案件ボリュームが減った。
- どんどん仕事は増えている。人手不足。大手情報通信企業、金融機関、コンビニなどとの取引拡大を見込む。

4 飲食・宿泊 (22社) →

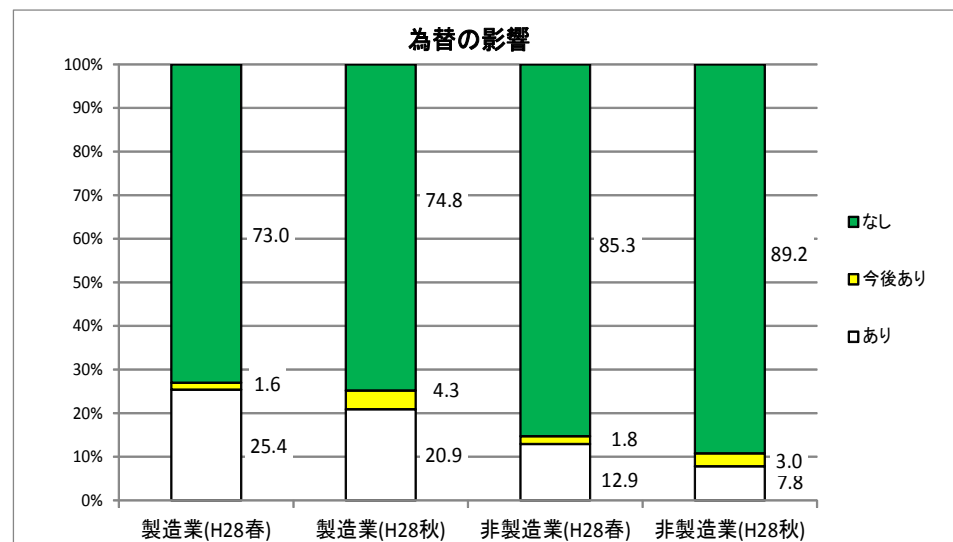
景況感は改善している (D. I はマイナス幅が縮小)。程度の差はあるものの観光地の旅館ホテルではふっこう割の効果が出ている模様である。

- ふっこう割の恩恵で前年並みの客室稼働率は達成できそう。
- 近隣にオープンしたビジネスホテルの影響や、宴会需要の低迷により厳しい経営状況が続く。
- 前年比5%以上の売上増。人材の確保さえできれば今後もよくなると見込まれる。

Ⅲ 為替の影響について

為替の影響

	あり	今後あり	なし
製造業(H28春)	25.4	1.6	73.0
製造業(H28秋)	20.9	4.3	74.8
非製造業(H28春)	12.9	1.8	85.3
非製造業(H28秋)	7.8	3.0	89.2



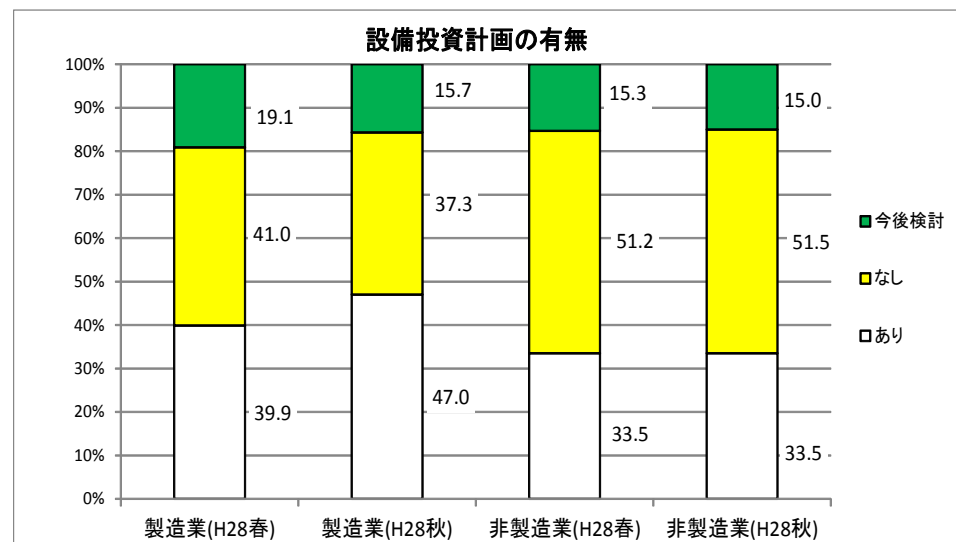
○製造業、非製造業ともに、『あり』と回答した企業の割合は減少している。

○期間中、米国大統領選を境に円安傾向となったため、原材料の輸入コストに係る正と負の評価が混在する調査結果となった。

Ⅳ 設備投資計画について

設備投資計画

	あり	なし	今後検討
製造業(H28春)	39.9	41.0	19.1
製造業(H28秋)	47.0	37.3	15.7
非製造業(H28春)	33.5	51.2	15.3
非製造業(H28秋)	33.5	51.5	15.0



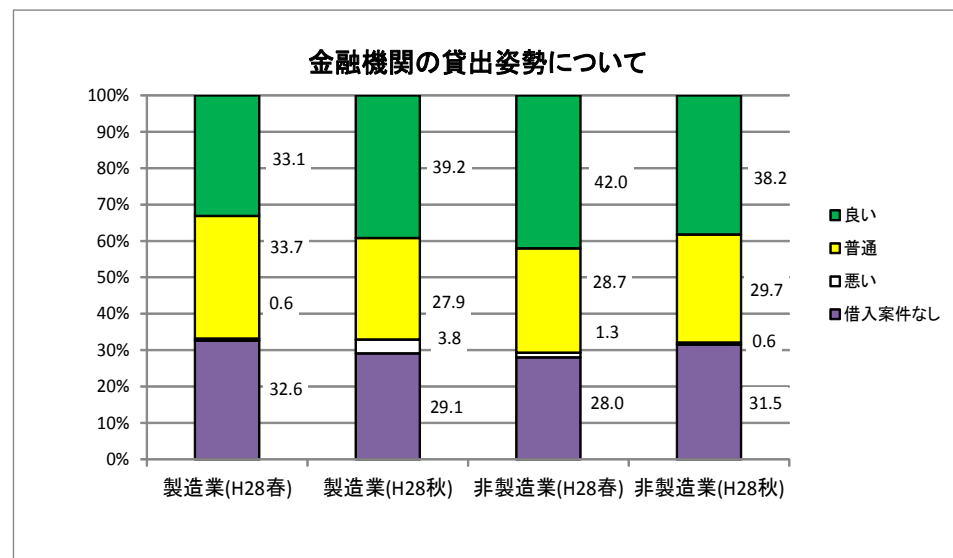
○『計画あり』は製造業で増加、非製造業は横ばい。

○『計画あり』の内容は、機械製造業における工作機械の導入のほか食品加工業では、生産設備の導入に加え工場の新増設の動きも見られる。非製造業では宿泊業で耐震工事検討の動きも。

V 金融機関の対応について

金融機関の貸出姿勢

	借入案件なし	悪い	普通	良い
製造業(H28春)	32.6	0.6	33.7	33.1
製造業(H28秋)	29.1	3.8	27.9	39.2
非製造業(H28春)	28.0	1.3	28.7	42.0
非製造業(H28秋)	31.5	0.6	29.7	38.2



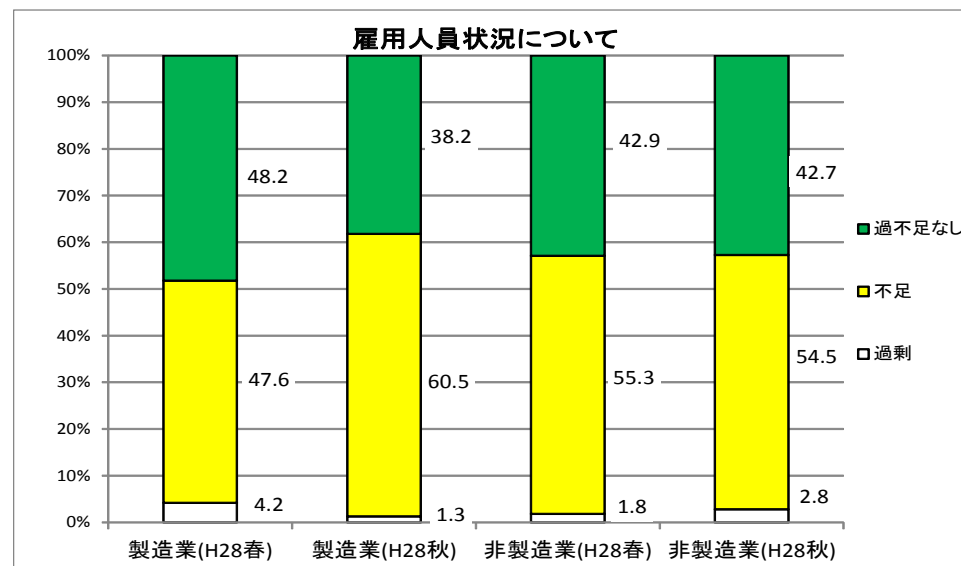
○製造業、非製造業ともに『良い』あるいは『普通』と回答する企業が引き続き太宗を占めている。

○資金需要については、新規アパートなど不動産関連が活発。創業関連では飲食店が多いとの報告もある。また、災害特別資金が使い勝手よかったとの声が多く好評であった。

VI 雇用について

雇用人員状況

	過剰	不足	過不足なし
製造業(H28春)	4.2	47.6	48.2
製造業(H28秋)	1.3	60.5	38.2
非製造業(H28春)	1.8	55.3	42.9
非製造業(H28秋)	2.8	54.5	42.7



○製造業、非製造業ともに、半数前後の企業が『不足』と回答する状況が続いている。

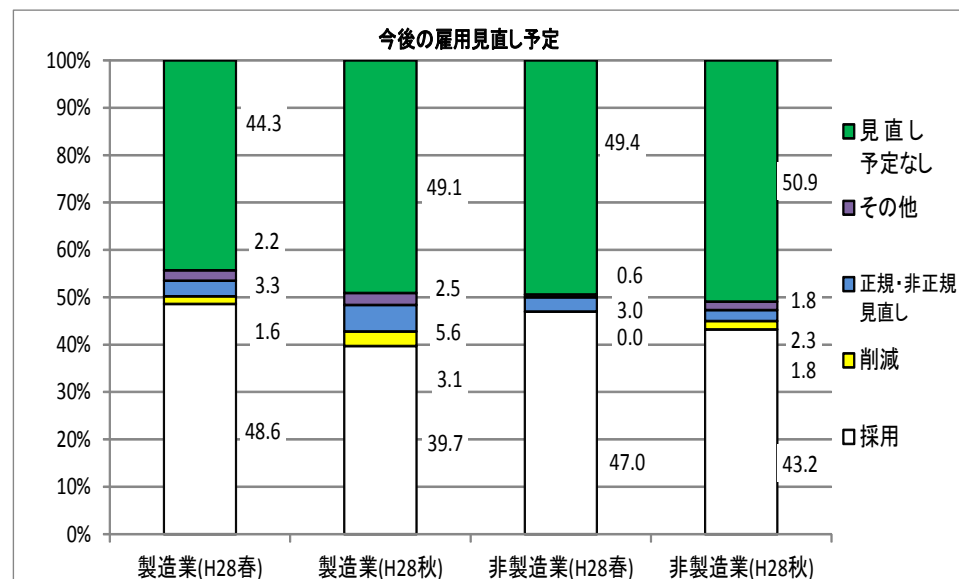
○製造業や土木・建設業、通信・情報で、設計部門などの技術人材が不足しているという声が多く聞かれた。

○運送業ではドライバー不足、宿泊業では、フロント、仲居、料理人など満遍なく人不足の状況が続いている。

VI 雇用について（続き）

今後の見直し予定

	見直し予定あり				見直し 予定なし
	採用	削減	正規・非正規 見直し	その他	
製造業(H28春)	48.6	1.6	3.3	2.2	44.3
製造業(H28秋)	39.7	3.1	5.6	2.5	49.1
非製造業(H28春)	47.0	0.0	3.0	0.6	49.4
非製造業(H28秋)	43.2	1.8	2.3	1.8	50.9



○製造業、非製造業ともに『予定あり（採用）』と回答した企業の割合が前回に比べやや減少したが依然4割前後の高い水準にある。

○大幅な増員計画を有するコールセンター、柔軟な雇用（時間、外注）を検討する製造業もある。

在宅ワークの県内ニーズ

○今回の企業訪問においては、在宅ワークのニーズに関する聞き取りも行った。

関心を示した企業数：19社（うち導入済みは4社）

業種：繊維1（札付、袋詰め、検品）

紙パルプ1（デザイン）

食品加工1

機械4（CAD、部品さしこみ）

事務用品製造1（加工商品仕上げ）

建設コンサル2（設計）

運輸1（配車センター）

情報通信7（プログラミング、WEB制作等）

不動産1（WEB情報入力）

導入企業例

◎建設コンサル

- ・遠隔地に住んでいる職員が交通事情などで出勤できないときに自宅PCからリモートアクセスで仕事ができるようにしている。介護離職防止なども念頭に今後もどんどん活用していきたい。

◎情報通信

- ・プログラミングの仕事にスカイプを使ったテレワークやリモート接続による作業を導入している。

◎情報通信

- ・障がい者従業員の通勤負担を考慮して導入。

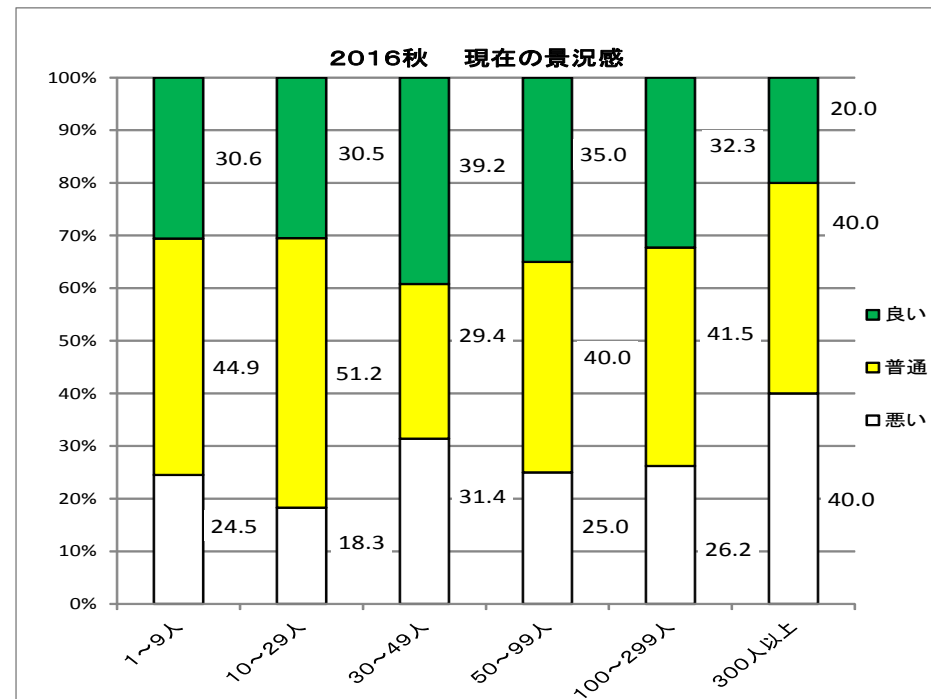
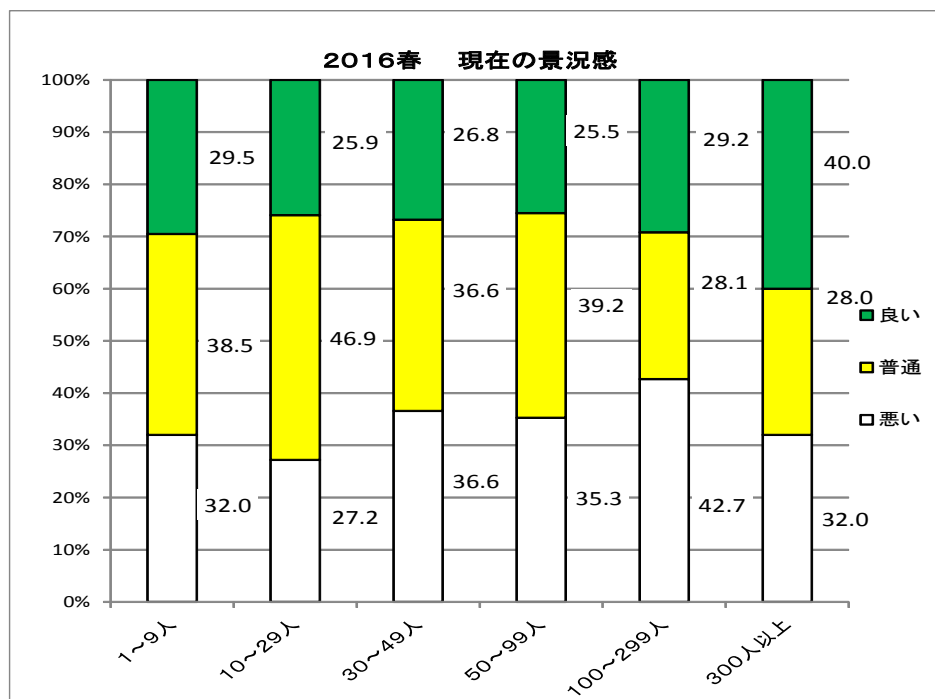
Ⅶ 従業員規模別の景況感について

景況感の比較

従業員規模	現在の景況感 (%)					
	2016春			2016秋		
	良い	普通	悪い	良い	普通	悪い
1～9人	29.5	38.5	32.0	30.6	44.9	24.5
10～29人	25.9	46.9	27.2	30.5	51.2	18.3
30～49人	26.8	36.6	36.6	39.2	29.4	31.4
50～99人	25.5	39.2	35.3	35.0	40.0	25.0
100～299人	29.2	28.1	42.7	32.3	41.5	26.2
300人以上	40.0	28.0	32.0	20.0	40.0	40.0

○「300人以上」の区分を除いて、「悪い」の割合が減少、「良い」と回答する企業の割合が増加している。

○「300人以上」の区分は母数が少ないことを考慮すれば、規模別に見ても全体的に、景況感が改善していることが読み取れる。



参 考（その他企業の声）

【為替の影響】

- 直接の影響はないが自動車業界全体としては円安の方が望ましい。（輸送機械（自動車））
- 中国に輸出しているため円高はマイナス。（電気機械）
- 円高はマイナス。1円動くだけで大きな損失がでる（造船）
- 円安で原料にしている輸入野菜の価格が上昇することになる。（食品加工）
- 直接の影響はないが、主要取引先の輸出量の変動を通して間接的な影響はあるだろう（運輸）

【設備投資計画】

- 業務の効率化を図るための設備導入を行いたい、補助金などの後押しがあれば検討したい。（食品加工）
- 生産管理システムの導入を考えており、ものづくり補助金を活用したい。（電気機械）
- 国の省エネ補助金等を利用し、照明や空調、射出成形機などを入れ替える。労働力人口の減少に備え機械化を進める。（事務用品製造業）
- 工場を拡大したい。土地は確保しているので資金が工面できれば実施したい。（食品加工）
- 観光客を受け入れる新棟の増設を検討中。（宿泊）

【金融機関の対応】

- 金融機関は融資に積極的。いつでも貸しますよと言ってくれる。（金属機械）
- 大型投資後の返済負担が大きいこともあり、追加融資の交渉は容易でない（一般機械）
- 銀行引き受けでエコ私募債を発行。（土木・建設）
- 地銀の場合保証付き融資となるため保証料が高い。保証協会なしのローンを組んでくれないのが悩み。（情報通信）

【商工団体の様子】

- 商工会数は合併により減少しているが（46→17）、旧商工会には支所として職員を配置し、常に相談・指導できる体制を維持している。
- 観光協会の本耶馬溪支部が廃止されたため、観光イベント業務を商工会で行うようになった。（中津しもげ商工会本耶馬溪支所）
- 買い物弱者対策として宅配事業を実施、現在6年目で会員は500世帯となり地域に定着。対応職員は市からの補助金で雇用。（宇佐両院商工会院内支所）

【雇用】

〈人手不足〉

- 技術者が不足している設計の人材が欲しい（電気機械）
- 夏季は人員が余剰になり、冬季は不足する。年間を通して雇用したいが悩ましいところ。（食品加工）
- 建築士と現場の人夫が不足している（土木・建設）
- 乗務員がとにかく不足しているため、大学生の就職先として選んでもらおうと経営革新計画を作成した。（運輸）
- 常にハローワークに求人を出しているが、良い人材が見つからない。若者を採用したいが、すぐ辞める者が多い。今後は雇用数を増やし、ワーク・ライフ・バランスの充実等に取り組まないと、賃金よりも休暇時間の確保を重視する若者が多くなってきた。（卸・小売）
- 30代のSEを希望しているが、なかなか人材がない。10月に大卒（工学系）1名採用したが、3年かけて育成するしかない。（情報通信）
- 仲居さん（パート）は常に不足状態であり、常に求人しているが、勤務が不規則で深夜（23時）にも及ぶことからなかなか集まらない。（飲食・宿泊）

〈障がい者雇用〉

- 設計業務はPC一つで作業が可能。車いす等であっても可能。会社までの通勤方法や諸問題を解決できればやりたい。（対事業所サービス）
- 地元支援学校から採用した。業務の精度は高いと感じている。周囲のサポートや教育体制がしっかりしているので、問題なく働き続けている。（飲食）
- 以前知的障がい者を雇用していたが、機械が複雑化し、また、取扱商品も増加したため、対応が困難となった。（印刷業）
- 高齢者や妊婦でも働けるよう機械設備を導入しているが、障がい者雇用までは行っていない。（木材・木製品）